

2024年4月5日

各位

会社名 ブライトパス・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
(コード番号: 4594 東証グロース)
問合せ先 取締役 C F O 竹下 陽一
irpr@brightpathbio.com)

当社の導入したSTAR-CRISPR™遺伝子編集技術の権利者の変更について

当社が実施許諾権を受けておりますSTAR-CRISPR™遺伝子編集技術¹の知的財産権が、このたびArtisan Bio社（本社：米国）からCellistic社（本社：ベルギー）に譲渡されましたので、お知らせいたします。

当社は、2023年5月1日にSTAR-CRISPR™遺伝子編集技術の非独占的使用権を取得するライセンス契約をArtisan Bio社と締結しておりますが、Cellistic社はSTAR-CRISPR™遺伝子編集技術を含むArtisan Bio社の遺伝子編集技術プラットフォームを買収したことを2024年4月4日（現地時間）に発表しました。

当社のSTAR-CRISPR™遺伝子編集技術の使用について、Artisan Bio社からCellistic社への知的財産権の譲渡による影響はありません。当社は、Cellistic社およびSTAR-CRISPR™技術の開発者双方と非常に友好的な協力関係を保っており、計画通りBP2201（iPS-NKT細胞療法）の研究開発を進めてまいります。

以上

Cellistic社について

Cellistic社は、iPS細胞（人工多能性幹細胞）技術に基づく免疫細胞医薬の製造工程開発と製造に特化するCDMOで、細胞を初期化してiPS細胞株にする技術と、そこから遺伝子編集等を施したiPS細胞株を作製するマスター・セル・バンク開発技術、ならびにマスター・セル・バンクから大量の目的細胞へと分化誘導・拡大培養する製造技術を有します。細胞の初期化、遺伝子編集および目的細胞への分化誘導の開発に重点を置き、専門知識を有する同社は、iPS細胞を用いた革新的な細胞医薬の開発を目指す企業の研究開発製造を一手に支援する独自の製造プラットフォームを有する世界的なリーダーの一つです。詳細については、<https://www.cellistic.com> をご覧ください。

用語解説

*1 (STAR-CRISPR™ 遺伝子編集技術)

CRISPR (Clustered Regularly Interspaced Short Palindromic Repeats) と呼ばれる、Cas (CRISPR associated proteins) により認識され、DNA二本鎖を切断してゲノム配列の任意の場所を削除、置換、挿入することができる新しい遺伝子改変技術のなかでも、独自のヌクレアーゼとガイドRNAにより最先端の遺伝子ノックイン、ノックアウト効率、多重編集機能をT細胞、NK細胞、iPS細胞が検証されている技術であり、これまでに、武田薬品工業やCabaletta Bioなどの複数のパートナーの細胞療法構築に利用されている。

*2 (NKT細胞/ iPS-NKT細胞)

ナチュラル・キラー（NK）とT細胞の間においてそれぞれの一部の性質を併せもつ細胞で、前者が自然免疫を担う細胞、後者が獲得免疫を担う細胞（がんの目印を学習してがん細胞を攻撃する細胞）の橋渡しをする。直接的・間接的にがん細胞を殺傷する多種多様な抗腫瘍効果を持つ。通常、ヒトのリンパ球の1%に満たない数しか存在しないため、従来の製造工程だと、機能を維持したNKT細胞を投与に必要な細胞数まで増殖させるのは容易ではなく、そこで、iPS細胞へと一旦初期化し、iPS細胞の段階で増殖させる製造方法が有効な製造手段となる。iPS-NKT細胞は、iPS細胞からNKT細胞に再分化させた細胞。

【問い合わせ先】

ブライトパス・バイオ株式会社 管理部

E-mail: irpr@brightpathbio.com

<https://www.brightpathbio.com>